

製品名: PKC デルタ+PKC シータウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe84187

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.61mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 78,82 kDa ; Observed MW: 78 kDa

抗原情報

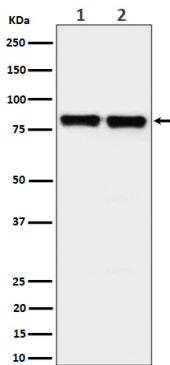
遺伝子名	PKC delta+PKCtheta ALPS3; CVID9; MAY1; nPKC-delta; nPKC-theta; PKCD; PRKCD; PRKCQ; PRKCT; Protein kinase
別名	C delta type; Protein kinase C theta type; SDK1; Sphingosine-dependent protein kinase-1; Tyrosine-protein kinase PRKCD;;PKC delta/theta
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q05655/Q04759/P28867/
免疫原	ヒト PKC デルタ由来の合成ペプチド

背景

カルシウム非依存性、リン脂質およびジアシルグリセロール (DAG) 依存性のセリン/スレオニンタンパク質キナーゼ。DNA 損傷誘導性アポトーシス時にはプロアポトーシスタンパク質として機能することにより細胞死と細胞生存において対照的な役割を果たし、サイトカイン受容体誘導性細胞死時には抗アポトーシスタンパク質として作用し、腫瘍抑制およびいくつかの癌の生存に関与し、NADPH オキシダーゼによる酸素ラジカル生成に必要であり、血小板機能応答における正または負の調節因子として機能します。

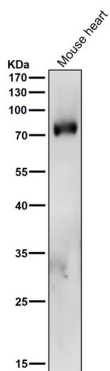
研究分野

画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) Raw264.7 細胞溶解物における PKC デルタ+PKC シータ発現のウェスタンブロット解析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。

